



## ○令和6年度 1学期を終了して

今日の終業式では、子どもたちの「頑張り」と「チャレンジ」がびっしりと貼られたチャレンジボード(チャレボ)の前で、終業式の講話を行いました。はじめの頃は、担任の先生方に指導をしていただきながら書いていた子どもたちでしたが、今では、校長室前のポストに入れたり、直接私に渡したりする児童も多くなりました。1年生も学習したばかりのひらがなで、大きなハートに、チャレンジを書き込んでいました！！

わたしたち教師は、子どもたちに学習指導をすることだけを生業にしているわけではありません。頑張っていること、悩んでいること、チャレンジしたいことなど、少しでも多くの子どもたちの「今」をキャッチし、後押しや力になっていく。このことで、子どもたちの「自己肯定感」や「自己有用感」を育てていくことも大切な仕事なのです。また、このようなことを通して、担任だけではなく色々な職員が、子どもたちに話しかける話題となります。「〇〇さん、最近〇〇にチャレンジしているみたいね、調子はどうですか？」など、学校全体で子ども一人一人に関わるきっかけとなっています。

本野小学校は、現在児童数64名の小規模校です。各学年10名程度で構成されています。担任の先生方は、子どもの数が減っていることを悲観するのではなく、その強みを模索し、子どもたちに還元していくことに重点を置いた指導をめざしています。そこでわたしも全児童の名前を覚え、「〇〇さん、おはようございます！」とあいさつをしています。最初は、「秘密の手帳」(子どもたちが名づけの親)が必要でしたが、一月ほどで覚えることができたのは、何か特別なことをやったわけではありません。子どもたちのおかげなのです。大変人懐っこく、よく話しかけてくれるのであつという間に覚えてしまいました。ありがとう「本野っ子」！！

子どもたち、保護者の皆さん、先生方、地域の皆さんに支えていただき「地域とともに本野小」があります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

